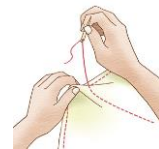




## 活動の様子



### ○刺し子制作 ～職業・家庭科～

今年度の刺し子は、ディズニーデザインに挑戦です。

音弥さんと蒼空さんは Donald Duck、美穂さんはチップとデールを選びました。下準備として、制作キットに入っているデザイン画を色えんぴつでなぞり、仕上がり色のバランスとイメージを決めてから縫い始めました。

蒼空さんは初めての刺し子の学習で、針に糸を通すことや針や布の持ち方、印通りに縫うコツなど、ひとつひとつ覚えながらの作業です。音弥さんと美穂さんは、昨年の経験を生かし、段取りを確認した後は、自力で進めることができます。

くぬぎ学級では、刺し子を通して将来の就労にも必要な根気強さや集中力・見通し・達成感・手先の巧緻性やスキルを身に付けます。また、「よろしくお願いします。」「できました。見てください。」「わからないので教えてください。」「もう一度教えてください。」「ありがとうございます。」など、挨拶や報告・質問する際の言葉、礼儀などの基本を徹底指導しています。



○鈴木 音弥さん：刺し子は難しいけれど楽しいです。最後まできちんと仕上げたいです。

○本郷 美穂さん：刺し子は楽しくて夢中で何時間でもできます。「チップとデール」をがんばります。

○金澤 蒼空さん：刺し子は初めてで難しいですが、「Donald Duck」を完成させたいです。



### ○卒業生の活躍 ～作業学習と進路～

5月21日（火）に福島県立石川支援学校の学校見学会が行われ、担任が参加しました。この春、くぬぎ学級を卒業した金澤琴海さんが高等部1年生に在籍しています。



高等部の授業参観は作業学習で、琴海さんは窯業（ようぎょう）班に所属し、焼き物用粘土を薄く伸ばす「修整」の仕事に取り組んでいました。

窯業班の目標は、①「あいさつ・返事・報告をする」②「考えて作業に取り組む」③「自分の仕事に責任をもつ」です。これらは、くぬぎ学級の学習においても徹底指導している内容です。

高等部の3年間は、卒業後の就労に向けて「働くことに特化したカリキュラム」です。社会生活を送るためのステップとして、社会自立・社会参加を目指した指導に重点を置いています。

青春を謳歌し充実した幸せな人生を送るために、高等部で3年間しっかりと学んでほしいと願っています。がんばれ！琴海先輩！

